

2018 年度及び 2019 年度展覧会企画 「北海道鉄道 × メディアアーツ」 Exhibition についての研究報告書

2018 and 2019 exhibition planning Research report on "Hokkaido Railways x Media Arts" Exhibition

小谷彰宏^{*,††} 梶谷崇^{*,**} 濱谷雅弘^{*,**} 塚越久美子^{*,†} 坂井俊文^{*,**}

Akihiro Kotani, Takashi Kajiya, Masahiro Hamaya, Kumiko Tsukagoshi,
Toshifumi Sakai

概要

札幌市は平成 18 年に「創造都市さっぽろ」を宣言し、平成 25 年にデジタル技術などを用いた新しい文化的、クリエイティブ産業の発展を目指す都市。さらに都市生活の改善に結びつくメディア芸術の振興、そして文化多様性の理解や市民参加を促す電子芸術の成長をけん引する「メディアアーツ都市」として、ユネスコ創造都市ネットワークへ加盟認定されました。「創造都市さっぽろ」宣言の一節に「創造性を活かしたコンテンツ産業など、あらゆる産業が創造性を発揮して競争力を高め、アートやデザインが生活の中にあふれ、感性を刺激し、感動を呼ぶ空間が生まれ、創造性あふれる人が育ち、絶えず新しいコトが起きる街となります」とあります。この定義を踏まえ、札幌独自のメディアアーツを紹介する展覧会を企画し開催するまでを、北方地域社会研究所北海道地域文化に関する研究（前・道南地域文化に関する研究）として取り組んだ実践報告書とする。

1. 「創造都市さっぽろ」と「メディアアーツ都市」

札幌市は、平成 18 年（2006 年）3 月、「創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、新しいコト、モノ、情報を絶えず発信していく街」を目指すという意思を示すための「創造都市さっぽろ」宣言を行いました。その取り組みを進める中、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）創造都市ネットワークのメディアアーツ分野で、平成 25 年（2013 年）11 月、世界で 2 都市目、アジアで初めて、「メディアアーツ都市」として同ネットワークへの加盟が認定されました。

1.1 創造都市さっぽろ宣言から読みとれること

創造都市さっぽろ（sapporo ideas city）宣言原文より抜粋

これからの私たちに必要なもの、それは、アイデアを生み、形あるものとし、創造力をいかした

まちづくりを進めることです。恵まれた環境の中で、市民の一人ひとりが創造力を発揮し、生活、文化、産業が、そして札幌の街がもっと元気になり、活気づき、人が集まり、都市の成長が持続していきます。

私たちが目指す創造都市・札幌は、創造性を活かしたコンテンツ産業など、新しい産業が発展し、あらゆる産業が創造性を発揮して競争力を高め、アートやデザインが生活の中にあふれ、感性を刺激し、感動を呼ぶ空間が生まれ、創造性あふれる人が育ち、絶えず新しいコトが起きる街となります。そして、創造性あふれる札幌の街には、世界中の人が訪れ、市民と交流し、それがまた札幌の創造性を高めていきます。⁽¹⁾

以上から、市民が創造力を活かし都市の成長を持続させるためにアートやデザインの感性の力が重要ととらえる。

* 北海道科学大学北方地域社会研究所

** 北海道科学大学未来デザイン学部人間社会学科

† 北海道科学大学全学共通教育部

†† 北海道科学大学未来デザイン学部メディアデザイン学科

1.2 ユネスコ創造都市ネットワーク「メディアアーツ都市」から読み取れること

ユネスコ創造都市ネットワークについて

創造的・文化的な産業の育成、強化によって都市の活性化を目指す世界の都市が、国際的な連携・相互交流を行うことを支援するため、平成16年にユネスコが創設したネットワークです。⁽²⁾

と説明されており、その一つ「メディアアーツ都市」については以下の説明がされている。

ユネスコ創造都市ネットワークの登録分野の一つで、デジタル技術などを用いた新しい文化的、クリエイティブ産業の発展を目指す都市。さらに都市生活の改善に結びつくメディア芸術の振興、そして文化多様性の理解や市民参加を促す電子芸術の成長をけん引する都市のことをいいます。⁽²⁾

上記のことから、メディアアーツとは、現代アートのカテゴリーの所謂「メディアアート」で無く、アートを芸術に留めず産業なども含め広く文化と解釈し、テクノロジーの発展を通して成長していく都市そして市民の文化ととらえる。

1.3 まとめ

以上のことからメディアアーツを広義の文化ととらえ、札幌の都市が創造力によって活性化することが北海道の発展へつなぐと定義した。しかし、視点を変えると札幌の経済は北海道全体の産業無しに成り立たないことがわかる。そこで北海道全体を俯瞰し、様々な視点でメディアアーツを紹介する仕組みとして北海道の鉄道網を象徴としたコンセプトの展覧会を企画した。

2. 展覧会企画の概要

札幌を拠点に全道とつながる鉄道。その北海道鉄道網を象徴とすることで、全道の地域文化や歴史を踏まえた北海道の姿を俯瞰することができます。そしてアート（芸術）の持つ創造性を通して捉えることが、人々の心に感動や更なる創造性を呼び起こし、社会活動の力となります。また新たな視点での地域課題の発見や、問題解決策の提案などを即し、地域振興や観光産業振興等、地域を活性化させる原動力となり得るでしょう。

本企画は、北海道の鉄道をテーマに、そこに暮らす人々の文化「もの・こと・とき」を広義のメディアアーツと捉え、CG・イラスト・写真・絵画・立体造形等の様々な表現のメディアアーツとして展示する展覧会と関連企画を実施します。

平成30年度(2018年)は、道南から道北まで鉄路で縦断する地域を取り上げ、ワークショップ等の開催や各地域との交流展覧会、研究発表を含め、メディアアーツの展覧会まで段階的に行います。以降2020年まで3ヶ年計画で全道の鉄路がテーマとなるメディアアーツ展覧会やフォーラムの開催を目指しています。



(図1, 2) 2018年度展覧会リーフレット(表, 裏)

2.1 「北海道鉄道 × メディアアーツ」Exhibition

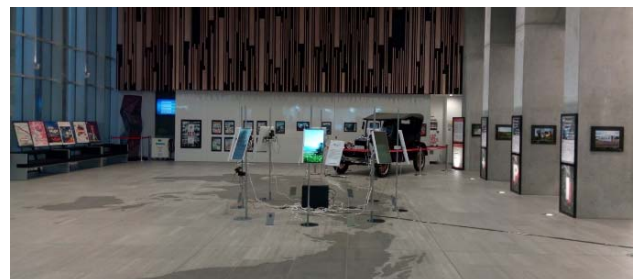
会期：2018年9月25日(火)～10月12日(金)

会場：北海道科学大学 中央棟(E棟)1階 HUS PLAZA
(入場無料) (図1, 2, 3)

主催：北海道科学大学北方地域社会研究所

後援：札幌市・札幌市教育委員会、北海道科学大学
未来デザイン学部

協力：札幌市市民文化局(創造都市ネットワーク)、
札幌市交通局(路面電車開業100周年協力事業)、
No Maps 実行委員会、稚内北星学園大学 Wakhok 画像研究会、稚内北星学園大学宗谷地域研究所



(図3) 展示会場風景

展示内容：

・小谷教授による道南いさりび鉄道の車窓風景映像を使ったメディアアート「他者のアウラ」(JR Tower Art Planets Grand prix Exhibition 2018 入選作品)の展示(図4)



(図4) メディアアート「他者のアウラ」

・メディアデザイン学科による札幌圏の風景や文化をテーマとしたデザイン・アートなどの学生作品展示(図5,6,7)



(図5,6) 学生作品



(図7) 学生作品

・北方地域社会研究所による道南いさりび鉄道等研究パネルの展示(図8)



(図8) 道南いさりび鉄道等研究パネルの展示

・写真部による北海道の風景や鉄道をテーマとした写真作品の展示
・稚内北星学園大学 Wakhok 画像研究会による道北の駅舎と風景をテーマとした写真作品の展示(図9)



(図9) 道北の駅舎と風景パネルの展示

・稚内北星学園大学宗谷地域研究所による道北の鉄路研究「鉄道プロジェクト」紹介パネルの展示
・メディアデザイン学科学生制作の創造都市さっぽろ及びユネスコ創造都市ネットワーク「メディアアーツ都市」紹介パネルの展示⁽³⁾(図10)



(図10) 「メディアアーツ都市」紹介パネル

・路面電車開業 100 周年記念ロゴデザイン紹介パネル及び歴史紹介パネルの展示（図 11）



（図 11）路面電車開業 100 周年事業参加によるパネル展示風景

・No Maps ポスターデザイン紹介のパネル展示

2.2 各種イベント・事業への参加

上記 Exhibition に関連し、以下のイベント・事業への出展を行なった。

(1) 稚内北星学園大学 Wakhok 画像研究会と共同で道北エリアの作品展と交流

「鉄道 × メディアアーツ」

会期：2018 年 8 月 10 日～20 日

会場：キタカラ KITAcolor（道の駅わっかない）アトリウム（入場無料）

主催：（株）まちづくり稚内

共催：稚内北星学園大学 Wakhok 画像研究会

後援：稚内北星学園大学宗谷地域研究所/北海道科学大学北方地域社会研究所/北海道科学大学未来デザイン学部/他

(2) JR タワー・アートプラネット・グランプリ 2018 に出品

(3) 北海道 150 年事業に登録（本学が「パートナー」団体）

(4) 路面電車開業 100 周年記念事業に関する民間企業等による協力事業へ参加（図 11）

2.3 第 2 回「北海道鉄道×メディアアーツ 2019」Exhibition

本企画は、北方地域社会研究所 (RING) が主体となり 3 力年計画で段階的に進める企画の第 2 回目であり、昨年度に引き続き本学 E 棟を会場に展示を行った。

本展示は北海道の地域文化や歴史を俯瞰する視点をアートの持つ力を通して人々に伝え、そこからまた新たな創造性を呼び起こし、地域課題の解決や

地域振興を活性化させる原動力となることを目的としている。本年度は以上の主旨に基づき、本学写真部、未来デザイン学部メディアデザイン学科学学生、および道内アーティストによる写真作品の展示を行なった。

実施要領は以下の通りである。

会期：2019 年 11 月 1 日（金）～11 月 22 日（金）

会場：北海道科学大学 中央棟 (E 棟) 1 階 HUS PLAZA（入場無料）（図 11）

主催：北海道科学大学北方地域社会研究所

企画：小谷・梶谷

※ 本企画は、文部科学省の第 61 回教育・文化週間に参加



（図 12, 13）2019 年度展覧会リーフレット（表、裏）

参考文献

- (1) 札幌市：地創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) 宣言 2020/3/10,
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/creativity/creativity/ideas_city.html
- (2) 札幌市：ユネスコ創造都市ネットワーク加盟について 2020/3/10,
<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/creativity/uccn/designation.html>
- (3) 札幌市：研究成果（平成 27 年度）「メディアアーツ」の産業での活用及び関連する産業人材の育成に向けた潜在ニーズ発掘型調査研究 2020/3/10,
<http://www.city.sapporo.jp/somu/machikiso/seika27.html>